

滞在型海外研究者招へいプログラム 企画募集 (2010 年度第 2 期)

惑星科学研究センター(CPS)では、惑星科学発展の中・長期的展望に立った海外研究教育機関との人材交流活動を支援する目的で、海外在住の研究者を招へいする企画の公募を行っています。

惑星科学研究センター (CPS) の紹介

惑星探査や天文観測の進展によって、太陽系の様々な天体について多くの情報が得られただけでなく、太陽系以外にも多様な姿をもつ惑星系が続々と発見されています。今、惑星科学は、探査や観測によって得られた膨大なデータを解析し、解釈を加え、それらを体系的に理解することに挑戦しています。その一方で、急速に発展する惑星科学は分野ごとに専門化が進み、全体像の把握が難しくなっています。総合科学である惑星科学の本来の目的は、惑星および惑星系の起源・進化・多様性の全体像を統合的に構築し、普遍化することにあります。これにより、生命を育む地球という惑星を位置づける宇宙観が確立されます。

惑星科学研究センター(CPS)は、学問の発展に伴う専門化の弊害を克服し、惑星科学の本来の目的を達成するために、国内外に開かれた学術拠点として 2007 年 4 月に誕生しました。CPS は、

- (1) 大学や機関の枠を超えた国内外の惑星科学研究者による人材育成や研究活動を触媒し、
- (2) 惑星科学の様々な領域から人々が集い、知見情報が集積される場を作り、
- (3) 急速に進展しつつある惑星科学の広がりや長期ビジョンを総合的に捉えるための基盤として機能すること

を目指しています。詳しくは以下もご参照ください：

<https://www.cps-jp.org/about/index.htm>

1. 募集内容

- * 被招へい者は、海外からの 1 名以上です。
- * 被招へい者は主として CPS もしくは北海道大学宇宙理学専攻または低温科学研究所に滞在するものとします。ただし、招へい期間中に少なくとも一度は CPS を訪問していただきます。
- * 被招へい者と研究討論などを行う目的で、国内在住研究者（複数名可）が滞在するのに必要な旅費、滞在費も合わせて申請できます。
- * ワークショップを開催する場合はそれにかかる費用も合わせて申請できます。ただし、ワークショップは原則として CPS にて開催して頂きます。
- * 招へい期間は 2 週間以上 3 カ月未満とします。
- * 今回の募集は、2011 年 3 月末までに完了する招へいを対象とします。
- * 申請者は、日本国内の惑星科学および関連する分野の研究者で、PD、大学院生も含まれます。ただし、CPS スタッフと事前に連絡を取り、連絡係として申請メンバーの中に加えてください。CPS スタッフとは、下記の CPS 専任スタッフおよび CPS スタッフ

です。以下のページ <https://www.cps-jp.org/member/> を参照してください。

- * 被招へい者には、少人数の閉じたディスカッションだけではなく、惑星科学界の幅広い人に向けた活動もしていただきます。例えば、公開研究セミナーや専門外の人を対象とした教育的な講義などです。これらのセミナーや講義は、ビデオ撮影され WEB 上に公開されることを原則とします。
- * 1 件当たりの予算は 100 万円以下です。
- * 採用予定件数：1 件（昨年度実績は以下をご覧ください
<https://www.cps-jp.org/~iccg/programs/taizai.htm>）

2. 申請方法

下記の項目を含む申請書を PDF ファイルにして電子メールに添付して提出して下さい（末尾にテンプレートがあります）。

- (1) 被招へい者の氏名、所属、身分、研究の概要
- (2) 受け入れ担当者の氏名、所属、身分（代表者を先頭にして人数分記述）
- (3) 招へい期間（被招へい者が複数名のときは被招へい者ごとに記述）
- (4) 招へいの目的、意義
- (5) 招へい期間中の活動計画
- (6) 予算見積もり
 - 具体的な用途ならびに見積もりの根拠を明記してください。記述が不十分な場合には採択となっても減額される場合があります。
 - 往復旅費、国内交通費、宿泊費については実費、日当は 1 日 1000 円で見積もってください。
 - 宿泊は CPS 指定の宿泊施設に宿泊して頂くことがあります。
 - その他、付随する活動（ワークショップ開催、国内他機関での研究活動など）にかかる費用も含めることが出来ます。

- * 送付先 iccg-apply10@cps-jp.org
 - 申請書ファイル名：半角で、提出日と被招へい者の名前を含めてください（例：
20101015_Smith.pdf）
 - メール subject: 滞在型海外研究者招へいプログラム応募

3. 申請期限

平成 22 年 10 月 31 日（日）

4. 選考および通知

- * 選考は、惑星科学研究センター共同事業専門委員会で決定され、締め切り後約 1 か月で通知します。
- * 選考の指針

以下に示す観点を選考の指針とします（必ずしもすべてを満たす必要はありません）。

- 惑星科学の分野・手法横断的活動の展開への貢献
- 惑星科学の新領域の開拓への貢献
- CPS の推進する知見アーカイブ事業への貢献
- 広い意味での人材育成面への貢献
- 実施実現可能性

また、単発の訪問に終わるのではなく、海外研究機関との中期・長期的、継続的な交流を通じて上記観点への貢献が期待できる企画を優先的に採用します。(そのような継続的人材交流の計画に対しては、国際連携 CG エクスチェンジプログラムを通じて更なる支援も検討します。エクスチェンジプログラムについては下記 7 を参照してください。)

5. 留意事項

- * 招へい終了後 1 カ月以内に、成果報告書を PDF ファイルにして電子メールに添付して提出して下さい(報告書のテンプレートは末尾にあります)。報告書の内容については、CPS ホームページおよび年次報告書に掲載します。報告書の送付先は申請書の送付先と同じです。
- * 滞在中の宿泊については、CPS 指定の宿泊施設を利用して頂くことがあります。詳細は CPS スタッフを通じて照会してください。
- * 本プログラムで生じた如何なる損失および事故に関しても、申請者側で対応するものとし、CPS は一切の責任を負いません。
- * 成果を論文等で発表される場合は、下記の謝辞を記載してください。

This work is supported in part by the Center for Planetary Science running under the auspices of the MEXT Global COE program entitled "Foundation of International Center for Planetary Science".

- * 2011 年 3 月末までに完了する招へいを対象としていますが、2 月中旬頃までにすべての予算執行が完了できるよう計画的な企画運営をお願いします。

6. 問い合わせ先

iccg-apply10@cps-jp.org

7. CPS 国際連携 CG エクスチェンジプログラムの紹介

エクスチェンジプログラムでは、海外研究機関との中期・長期的、継続的な交流によって、惑星科学の進展および人材育成が期待出来る研究交流を支援します。エクスチェンジプログラムは現在公募を行っていませんが、CPS 国際連携 CG の「滞在型海外研究者招へいプログラム」に採択された企画から、共同事業専門委員会により惑星科学の発展に特に効果が高いと判断したものに対して継続的な支援を行います。これまでの活動については <https://www.cps-jp.org/~iccg/programs/exchange.htm> を参照してください。

滞在型海外研究者招へいプログラム申請書

(1) 被招へい者(複数名のときは、欄を書き足してください)

氏名:

所属:

職名:

研究の概要:

(2) 受け入れ担当者(代表者を先頭にして、人数分記入してください)

氏名:

所属:

職名:

(3) 招へい期間(被招へい者が複数名のときは、欄を書き足してください)

被招へい者氏名: 期間: 年 月 日 ~ 年 月 日

(4) 招へいの目的・意義

(5) 招へい期間中の活動計画

(6) 予算の見積もり

(7) 備考

滞在型海外研究者招へいプログラム報告書

1. 被招へい者全員の氏名・所属・身分とそれぞれの滞在期間・滞在先
2. 受け入れ担当者の氏名・所属・身分
3. 招へいの目的・意義
4. 成果報告（用紙は適宜追加してください）